

Micro Stucco

# マイクロストウツク

-施工の手引き-

【初版】令和6年2月

一般社団法人 WCG

## ストウツクの特徴

- 水性、非吸水性を問わず、あらゆる表面に塗布することができます。
- 混ぜることなく、すぐにお使いいただけます。
- 屋内でも屋外でも使用が可能。
- 多彩なカラーバリエーション

## カラーチャート

- ストウツクは、以下の標準色からお選びいただけます。



## 塗布する場所について

- 塗布する場所は、平滑かつ耐性があり、埃や油脂、付着の妨げとなる物質が含まれず、清潔にする必要があります。
- 塗装する場所が、タイルのような目地がある場合、凹凸が大きい場合は、不完全な部分を補修し、塗料を2回塗布する必要があります。

## 塗布できる場所の例

- セメント及び石膏
- 木材及び石膏ボード
- タイル、セラミック、磁器、大理石、御影石など

## 使用材料

材料	塗布量	乾燥時間(気温20度の場合)	厚み
コンクリートベース(床用)	1m <sup>2</sup> あたり 1kg	1塗布あたり 4~6時間	1mm
アクアベース(壁用)	1m <sup>2</sup> あたり 1kg	1塗布あたり 4~6時間	0.7~1mm
プライマー	10~14m <sup>2</sup> あたり 1kg	1塗布あたり 30分	
ストウック	1.5m <sup>2</sup> あたり 1kg	1塗布あたり 2~3時間	0.1mm
シーラー	7~10m <sup>2</sup> あたり 1ℓ	3時間(完全防水は7日間)	
クリア	1m <sup>2</sup> あたり 60~80g	3時間	
		艶有(グロス): 8~12時間	
		半艶(サテン): 6~10時間	
		艶消し(マット): 4~8時間	

- ベース、プライマー、クリアは他製品でも同様の塗布量、乾燥時間となります。

- 塗布する支持体が 0.1 mm以上の目地がある場合（陶器、磁器、大理石、タイル壁など）は、プライマーを塗布し接着力を高め、アクアベースをその上に塗布する必要があります。
- 完全に乾燥した後に、ストウックを塗布してください。
- ベースの使用については、下地が0.1mm以上の凹凸がある場合に推奨されます。0.1mm以下の場合は使用を割愛できます。
- クリアについては、可能な限り薄く塗布することを推奨します。

## 施工道具

- 保護テープ
- ハサミまたはカッター
- サンダー
- 40 番台のサンドペーパー
- 120～240 番台のサンドペーパー
- ヘラ
- ステンレスコテ
- マイクロファイバーローラー
- ペインティングパン
- 電動ミキサー
- バキュームクリーナー
- 計量器またはデジタルスケール

## 使用方法

※ベースの使用については、下地が 0.1mm 以上の凹凸がある場合に推奨されます。0.1mm 以下の場合は使用を割愛できます。

1. 必要な場所に保護テープを貼ります。
2. ローラーを用いて、ファイバー製メッシュを表面にプライマーで張り付けていきます。  
 -----ベース塗布（1層目）-----
3. ベースの容器を開封し、ヘラまたは塗料用ミキサーでペーストが完全に均質になるまでよく混ぜます。
4. アクアベース、またはコンクリートベースを塗布します。この際、厚さは最大 1mmを限度とします。塗布する際は、45 度に傾けたコテで一定の圧力をかけながら慎重に塗布してください。塗布回数は 2～3 回程度が目安で、必要に応じてご対応ください。

5. ベースが固まる前に保護テープをはがします。
6. ベースが完全に乾燥するのを待ちます。
7. 乾燥後に、ベースの表面の凹凸を、ヘラまたは 40～80 番のサンドペーパーで研磨します。研磨後は粉塵をよく落としてください。

-----ベース塗布 (2層目) -----

8. 必要な場所に保護テープを貼ります。
9. 再度、4 の手順でアクアベース、またはコンクリートベースを塗布します。
10. ベースが固まる前に保護テープをはがします。
11. 40～80 番のサンドペーパーで、2層目の表面を研磨します。  
研磨後は、締めらせた布や掃除機で粉塵をよく落としてください。

-----ストウック塗布 (1層目) -----

12. 必要な場所に保護テープを貼ります。
13. ストウックの容器を開封し、ヘラまたは塗料用ミキサーでペーストが完全に均質になるまでよく混ぜます。
14. 角が丸いステンレス製のコテで、ストウックを塗布します。できるだけ凹凸のないように、素早く塗布してください。この際、厚さは 0.1mm を限度とします。
15. 保護テープをはがし、ストウックの塗布 1層目が完全に乾燥するのを待ちます。
16. 乾燥後に、ストウックの表面の凹凸を、120～240 番のサンドペーパーを用いて研磨します。  
研磨後は粉塵をよく落としてください。

-----ストウック塗布 (2層目) -----

17. 必要な場所に保護テープを貼ります。
18. 再度、14 の手順で、ストウックを塗布します。
19. 保護テープをはがし、ストウックの塗布 2層目が乾燥するのを待ちます。
20. 乾燥後に、ストウックの表面の凹凸を、1層目同様に 120～240 番のサンドペーパーを用いて研磨します。  
研磨後は粉塵をよく落としてください。

-----シーラー塗布-----

21. 必要な場所に保護テープを貼ります。
22. ペインティングパンにシーラーを入れ、短毛ローラー、またはマイクロファイバーローラーで均一に塗布します。
23. 保護テープをはがし、シーラーの塗布が乾燥するのを待ちます。

-----クリア塗布 (1層目) -----

24. 必要な場所に保護テープを貼ります。
25. マイクロファイバーローラーを使用し、クリアを塗布します。
26. 保護テープをはがし、クリアの塗布が乾燥するのを待ちます。

## -----クリア塗布（2層目）-----

27. 25～26 同様の作業で、2層目のクリアを塗布します。

### 使用上の注意

- 浴室の壁や外壁など水にさらされる場所にてマイクロストックを完全に防水するためには、クリアを2回塗布する必要があります。
- 研磨する過程については、通常のサンドペーパーではなく、メッシュ・サンドペーパーで行ってください。
- 研磨の際は、研磨機を使用しながら、1500rpm の速度で壁全体を均一に、短い半円状の動きで研磨を行ってください。
- 本製品を水で希釈する必要がある場合、最大5%の溶解度を超えないでください。
- 塗れていたり、湿っていたり、毛細管現象で水分がある下地には絶対に塗布しないでください。また、空気中の湿度が50%を超える場合、本製品を塗布しないでください。
- 霜や雨天の恐れがある場合、散布しないでください。気温が5度以下または35度以上の場所では散布しないでください。
- 最後の層を塗布する際は、途中で塗布を中止しないでください。一度塗布し始めた場合、不完全な部分や継ぎ目が見えないよう、最後まで塗布してください。
- 表面が非常に広い場合は、数人で同時に塗布してください。
- 本製品を塗布後、完全に乾燥させた後、他のコーティングをする際には少なくとも4日、また水で湿らせたり、濡らしたりする際は、7日経過させてください。
- 脚の仕上げが尖っていたり、丸みを帯びていたり、硬いプラスチックのプロテクターが付いているような、全重量が一点に集中するような家具等は、マイクロセメントに跡がつく可能性があります。
- 椅子、テーブル等の家具の脚は、末端が広くまっすぐであり、常に保護フェルトを敷き、硬質プラスチックの脚プロテクターは必ず取り外してください。
- マイクロセメント上にて、家具や電化製品等の道具を引きずることは避けてください。
- 本製品はセメントを含むため、皮膚への付着や、目に入らないよう注意してください。もし、目に入った場合、速やかに水で十分に洗い流し、その後不快感がある場合は医師への相談をしてください。

ご不明な点は、公式HPよりお問い合わせください。

以上